



巻頭言

名寄市立大学図書館
館長 加藤 淳



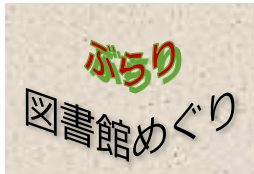
現在皆さんが目にして、白壁のモダンな図書館は、2017年4月から利用が開始された新しい図書館です。1960年の本学開学当時には、まだ図書館はなく（図書室のみ）、その5年後の1965年に最初の図書館が建築されたことが、本図書館だよりのシリーズ「名寄市立大学図書館のあゆみ」でも紹介されています。当時の蔵書数は約7,000冊（15,000冊収容可能）とのことですが、現在では蔵書数約10万冊（約14万冊収容可能）、閲覧席数200席という大変立派なものになっております。

私が本学に赴任したのは昨年の4月ですので、まだ1年と少々が経過したばかりなのですが、本学に来て最初に感動したのが図書館の素晴らしさです。単に建物としての立派さだけではなく（外観も素敵です）、フロアごとの利用空間の設計、学習スペースの充実、ラーニング・コモンズにおける設備と配置、開館時間の充実、そして何よりもここにいる図書館司書の方々の専門的な知識と親切な対応、ハードとソフトの両方が調和して、初めて居心地の良い空間になるのではないかと思います。

大規模な他大学や、歴史のある海外の大学には、もちろんかなわない部分は多々ありますが、学生数800人弱、人口3万人弱の名寄市においては、最も自慢のできる知の拠点の一つではないかと思います。昨年度の利用状況を見ても、総貸出数は約3万冊、開館日一日当たりにすると100冊を超えており、学生、教職員、そして学外の一般利用者からも活発に利用されていることが分かります。

この4月から、このように充実した図書館の館長としてお勤めすることとなりましたが、折しも新型コロナウイルス禍の影響により、これまでに経験したことのない日常生活や授業体制となり、図書館も利用制限を余儀なくされております。本来であれば、図書館主催のビブリオバトルやサイエンスカフェなどの各種イベント、ラーニング・コモンズにおける学修支援など、これまで以上に充実したものとなるように考えていかなければならないところです。

これからもしばらくの間は続くであろう「新しい生活様式」を見据え、限られた条件の中ではありますが、本学の図書館が利用する方々にとってより快適な空間となるよう、できる限り努めてまいりたいと思います。



シリーズ 7 名寄市立大学図書館のあゆみ

その 2. 名寄市立大学開学以降の 2 館体制

2004 年、4 年制大学への改組開学の準備が本格的に始まります。現 3 号館就職支援室にあった 4 大準備室では膨大な事務作業が行われていました。同時に図書館でも膨大な図書整理作業が行われていました。未登録図書が司書室に山積されている状況でしたし、更に新設される社会福祉学科・栄養学科系の図書が相当数増加することが見込まれたため、現状の人員では業務遂行が不可能でした。臨時的措置として臨時・嘱託職員を増員し、それまでの倍の 4 名で業務にあたり、未登録図書を遡及登録し、更に研究室配架図書も各研究室を訪問しつつ登録するなど、整理にほぼ 2 年間で費やしました。また、4 大開学に合わせての図書館の建設が見送られたため、大学公園側に増築、更に旧恵陵高校の図書室を改装し分館とする工事が行われました。特に本館は通常開館しながらの拡張工事だったため、騒音もあり、落ち着かない時期でした。2005 年の年度末には分館へ移動する図書の選定・運搬を行い、準備を整えました。2006 年 4 月、いよいよ 4 大としてスタート。これより本館・分館 2 館体制が 11 年続きます。また、日常業務にあたる図書館員が全員臨時・嘱託職員という体制も長く続くことになります。



旧図書館本館



旧図書館分館

日本の大学図書館では 1980 年代から学術情報センター（現・国立情報学研究所）による総合目録および所在情報データベース(NACSIS-CAT)の運用が始まり、多くの大学や研究機関が参加して目録の作成を分担し、自館の所蔵情報を登録してきました。それまで、各図書館が自前で発行する蔵書目録だけが頼りだったものが、データベース化されたことで飛躍的に便利になりました。1990 年代以降は図書館が急速に電子化されていった時期と言えます。また、それらのデータを利用して相互貸借や文献の複写依頼もオンラインでできるようになりました(NACSIS-ILL)。NACSIS-CAT/ILL への参加は大学図書館として最低限のことでしたので当館でもそのシステムに参加することが急務となり、図書登録・雑誌登録・ILL の各講習会を受講し、2006 年より NACSIS への図書の所蔵登録作業を始め、2007 年より ILL を開始しました。さらに翌年は雑誌の所蔵登録を開始。足掛け 5 年ほどでほぼすべての図書・雑誌の NACSIS 登録が完了しました。これによって、他館に依頼一方だった状況から、当館からも他館へ文献を提供するという業務が徐々に増え、文字どおり相互協力の基礎が整ったこととなります。

当初、経理上の都合により、複写料金のやり取りはその都度振り込みや切手送付という手間のかかるものでしたが、2008年に料金相殺サービスへの加入ができたことで、事務作業が格段に軽減されました。しかし他館からも申し込みやすくなったため、ILLの受付業務が増加するという結果になりました。

また、相殺サービス加入に伴い、本学学生の卒業研究のための文献取り寄せを無料としました。近隣大学もなく、道立図書館・国立国会図書館も遠い、専門分野の雑誌数も限られているといった学生の不利益をカバーすることを目的としています。このように大学完成年度の2009年までには立ち遅れていた大学図書館としての基本的な機能の構築ができたように思います。

2010年には「名寄市立大学図書館の理念」を制定し、学内における図書館の役割・その目指すところを明確にしました。1つ目の大きな柱として学生の学習支援を積極的に行うことを掲げ、貸し出し用ノートパソコンの設置、電子ジャーナルの導入、パスファインダー提供等、できることから実行に移していった時期でした。図書館利用教育としては資料の探し方を中心にした図書館ガイダンスを1年次の基礎演習中で行うようになりました。また月ごとにテーマを決めた展示、学生目線で図書を実際に選んでもらう選書ツアーなど、図書館の利用率アップを目指した取り組みも行うようになりました。また、各地の大学図書館等で徐々に広がり始めたビブリオバトルも開始。開催方法を試行錯誤しながらも予選会を行い、大学祭で本戦を行い、こちらは昨年度で第6回になりました。



図書館ガイダンスの様子

もう一つの柱は地域貢献・研究の公開でした。教員が自らの研究から話題を提供し、気軽に語り合う「サイエンスカフェ」を2011年から始め、3回目からは大学祭で行い一般市民へも呼びかける行事となりました。内容

も各学科の専門性を活かした多様なテーマが取り上げられ、市民にも好評な行事となっています。また、大学などの研究機関がその知的生産物を保存・公開する「機関リポジトリ」についても、国立情報学研究所が構築するサービスを利用する形で準備を進め、「名寄市立大学機関リポジトリ」として運用を開始しました。いずれは名寄市内の研究機関を含めた地域リポジトリを視野に入れていますが、まだ実現には至っていません。

2012年からは学生の要望が多かった夜間開館を本館で開始、2年後には分館も同様に午後9時まで延長開館となり、夜間の職員が配置になりました。



第4回サイエンスカフェ(2014)の様子

まだ土曜日は休館していましたが、試験期間を中心に特別開館する試みも徐々に浸透していきました。しかし、2館体制にしたとはいえ、書架や閲覧席不足の根本的な解決とはならず、学内には5か所もの閉架書庫が点在する状態でした。また学科に関連する分野・隣接分野の図書が本館・分館で分断されるなどの不便さもたびたび指摘され、新図書館の建設を望む声は切実なものとなっていました。

(谷 紀美子)

(次号へ続く)

2019年度 ベストリーダー



本学図書館では毎年、名寄市の図書納入組合様より図書カードをいただき、卒業学年のベストリーダー(1年間に最も多くの図書を借りた人) 2名に贈呈しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で卒業式が行われなかったため、3月11日に図書館内で授与式を行いました。

■卒業学年ベストリーダー

社会福祉学科 目面 瑠花さん

看護学科 新飯田秀人さん



また、大学同窓会より各学科・各学年のベストリーダーの皆さんにも図書カードが贈られました。
(学年は3月末)

栄養学科

1年	吉田 那名さん	237冊
2年	長谷川 鈴さん	151冊
3年	清水野みのりさん	79冊
4年	橋本 美緒さん	55冊

看護学科

1年	西崎さくらさん	122冊
2年	倉林 雅恵さん	96冊
3年	千葉穂乃夏さん	75冊
4年	新飯田秀人さん	122冊

社会福祉学科

1年	渡邊 結衣さん	259冊
2年	小関千那代さん	128冊
3年	黒田 秋さん	92冊
4年	目面 瑠花さん	134冊

社会保育学科

1年	青木 愛花さん	79冊
	岡村 藍さん	79冊
2年	佐々木星奈さん	83冊
3年	山田望和さん	199冊
4年	櫻庭 玲実さん	72冊

お知らせ

6月8日(月)より、開館時間が延長され、18:50までとなります。ただ、通常通りに利用できるようになるまでには、もう少し時間がかかります。

新着図書も続々と入っていますので、図書館HPをご覧ください。わからないことは遠慮なくおたずねください。メールでもOKです。



図書館だより 2020年度第1号
2020年6月8日発行
名寄市立大学図書館運営委員会

名寄市立大学図書館
〒096-8641

名寄市西4条北8丁目1番地

